

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

業種別に特徴はあるが、「ニーズ変化への対応」、「コスト上昇」、「需要の停滞」が共通して入っている。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	16.7%
	2位	製品(加工)単価の低下・上昇難	13.3%
	3位	需要の停滞	13.3%
建設業	1位	請負単価の低下・上昇難	19.0%
	2位	民間需要の停滞	14.3%
	3位	材料価格の上昇、従業員の確保難、下請業者の確保難	9.5%
小売業	1位	消費者ニーズの変化への対応	21.2%
	1位	仕入単価の上昇	21.2%
	3位	需要の停滞	15.2%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	27.6%
	2位	需要の停滞	13.8%
	3位	利用者ニーズの変化への対応	10.3%
サービス業	1位	利用者ニーズの変化への対応	16.2%
	2位	人件費以外の経費増加	10.8%
	2位	従業員の確保	10.8%

5 取り組むべき経営課題

問題解決に向けて、取り組むべき経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。

全産業平均では、「販路開拓」、「コスト削減」について、多くの企業が課題と考えている。

その他の意見として、後継者不在とする回答が散見された。

今回の調査において、廃業に至った企業が4社存在しており、ますます事業承継対策が重要となる。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	コスト削減	29.4%
	2位	販路開拓	23.5%
	3位	人材募集	17.6%
建設業	1位	人材募集	28.6%
	1位	販路開拓	28.6%
	1位	コスト削減	28.6%
小売業	1位	販路開拓	47.1%
	2位	コスト削減	23.5%
	2位	新製品開発	17.6%
飲食業	1位	販路開拓	47.1%
	2位	新製品開発	29.4%
	3位	コスト削減	11.8%
サービス業	1位	コスト削減	27.8%
	2位	人材募集	22.2%
	2位	現場改善	22.2%
全産業平均	1位	販路開拓	31.6%
	2位	コスト削減	23.7%
	3位	新製品開発	17.3%

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(平成30年1月～3月期実績、平成30年4月～6月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

すべての指標が好転

今期の産業全体の景況は、売上額DIが-20.0、採算DIが-16.0、資金繰りDIが-11.0となり、対前期比でそれぞれ6.0ポイント、12.0ポイント、3.0ポイント改善し、すべての指標が好転した。

前期は、採算DIのみ減少したが、当期は好転し、すべての指標が上昇した。年間を通した趨勢で見ると、景況感は概ね横ばいである。





































業種別では、サービス業が堅調である。次に製造業が改善してきており、次期も見通しは明るい。建設業と小売業は、改善の傾向にある。飲食業は厳しい状況が続いてきたが、大幅に改善した。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-20.0% (対前年比 6.0好転)	次期予想	-9.0% (対前年比 11.0好転)
・採算DI	-16.0% (対前年比 12.0好転)	次期予想	-9.0% (対前年比 7.0好転)
・資金繰りDI	-11.0% (対前年比 3.0好転)	次期予想	-5.0% (対前年比 6.0好転)

産業全体景況天気図

総評 

時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月～3月	 -22.0% 	 -15.0% 	 -13.0% 
29年4月～6月	 -32.0% 	 -23.0% 	 -15.0% 
29年7月～9月	 -32.0% 	 -23.0% 	 -16.0% 
29年10月～12月(前期)	 -26.0% 	 -28.0% 	 -14.0% 
30年1月～3月(今期)	 -20.0% 	 -16.0% 	 -11.0% 
30年4月～6月(見通し)	 -9.0% 	 -9.0% 	 -5.0% 

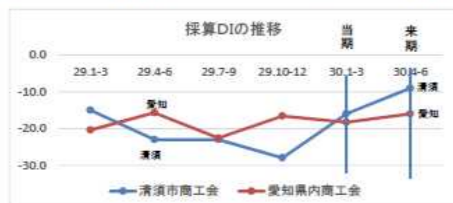
※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会(愛知県内)と清須市商工会(清須市)との比較

①売上DI
29年4-6月期には、一時的に大きく差が開いたものの、当期は清須市が1ポイント上回った。来期は清須市、愛知県共に改善する見通しである。



②採算DI
29年10-12月期では愛知県が好転し、清須市が悪化したため大きく差が開いていたが、当期は清須市が改善し、愛知県を上回った。来期は、清須市が更に改善する見通しである。



③資金繰りDI
29年4-6月期には、一時的に大きく差が開いたものの、当期は拮抗している。来期は、清須市が改善し、愛知県を上回る見通しである。



【全産業平均】

時期	29.1-3	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6
売上DIの推移						
清須市商工会	-22.0	-32.0	-32.0	-28.0	-20.0	-9.0
愛知県内商工会	-24.4	-9.1	-22.5	-17.7	-21.0	-11.0
採算DIの推移						
清須市商工会	-15.0	-23.0	-23.0	-28.0	-16.0	-9.0
愛知県内商工会	-20.4	-15.7	-22.6	-16.8	-18.3	-16.0
資金繰りDIの推移						
清須市商工会	-13.0	-15.0	-16.0	-14.0	-11.0	-5.0
愛知県内商工会	-14.2	-2.8	-11.4	-6.7	-10.3	-8.1

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書(愛知県版)から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業は「採算」「売上額」「資金繰り」が悪化

製造業では、売上額DIが-23.8、資金繰りDIが-9.5となり、対前期比でそれぞれ4.8ポイント減少し、悪化に転じた。採算DIは-4.8ポイントとなり、9.5ポイント改善し、3期連続で好転した。

前期は、すべての指標で好転していたが、当期は売上額DIと資金繰りDIが、減少幅は小さいものの悪化に転じた。年間を通じた趨勢で見ると、景況感は上昇傾向である。

次期は、売上額DIと資金繰りDIが好転する見通しである。特に、売上高DIは大きく好転し、プラス値に転じる見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上額DI	-23.8% (対前年比 -4.8悪化)	次期予想	4.8% (対前年比 28.6好転)
採算DI	-4.8% (対前年比 9.5好転)	次期予想	-4.8% (対前年比 0.0横ばい)
資金繰りDI	-9.5% (対前年比 -4.7悪化)	次期予想	-4.8% (対前年比 4.7好転)



時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月~3月	-25.0%	-35.0%	-20.0%
29年4月~6月	-57.1%	-52.4%	-33.3%
29年7月~9月	-42.9%	-28.6%	-23.8%
29年10月~12月(前期)	-19.0%	-14.3%	-4.8%
30年1月~3月(今期)	-23.8%	-4.8%	-9.5%
30年4月~6月(見通し)	4.8%	-4.8%	-4.8%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2) 建設業

建設業はすべての指標が好転

建設業では、売上額DIが-16.7、採算DIが0.0、資金繰りDIが0.0となり、対前期比でそれぞれ22.2ポイント、22.2ポイント、11.1ポイントとすべての指標で大幅に好転した。

前期は、すべての指標が悪化し、特に採算DIが大きく減少していたが、当期は、一転すべての指標が好転している。年間を通じた趨勢で見ると、波があるものの景況感は概ね横ばいである。

次期は、売上DIが横ばい、採算DI、資金繰りDIは減少の見通しだが、下げ幅は大きくない。

主要3DIの対前年同期比推移

売上額DI	-16.7% (対前年比 22.2好転)	次期予想	-16.7% (対前年比 0.0横ばい)
採算DI	0.0% (対前年比 22.2好転)	次期予想	-5.6% (対前年比 -5.6悪化)
資金繰りDI	0.0% (対前年比 11.1好転)	次期予想	-5.6% (対前年比 -5.6悪化)



時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月~3月	-15.0%	10.0%	0.0%
29年4月~6月	-33.3%	-16.7%	0.0%
29年7月~9月	-33.3%	5.6%	0.0%
29年10月~12月(前期)	-38.9%	-22.2%	-11.1%
30年1月~3月(今期)	-16.7%	0.0%	0.0%
30年4月~6月(見通し)	-16.7%	-5.6%	-5.6%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3) 小売業

小売業はすべての指標が好転

小売業では、売上額DIが-19.0、採算DIが-28.6、資金繰りDIが-23.8となり、対前期比でそれぞれ9.6ポイント、14.3ポイント、4.8ポイント上昇し、すべての指標が好転した。売上額DIは2期連続で上昇し、採算DIは大きく改善している。

前期は、概ね横ばいの傾向を示していたが、当期はすべての指標が好転した。年間を通じた趨勢で見ると、期中では採算DIが悪化していたものの、景況感は概ね横ばいである。

次期は、売上額DIが悪化する見通しだが、採算DI、資金繰りDIは引き続き好転の見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上額DI	-19.0% (対前年比 9.6好転)	次期予想	-28.6% (対前年比 -9.6悪化)
採算DI	-28.6% (対前年比 14.3好転)	次期予想	-19.0% (対前年比 9.6好転)
資金繰りDI	-23.8% (対前年比 4.8好転)	次期予想	-9.5% (対前年比 14.3好転)



時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月~3月	-25.0%	-15.0%	-20.0%
29年4月~6月	-33.3%	-14.3%	-14.3%
29年7月~9月	-33.3%	-38.1%	-28.6%
29年10月~12月(前期)	-28.6%	-42.9%	-28.6%
30年1月~3月(今期)	-19.0%	-28.6%	-23.8%
30年4月~6月(見通し)	-28.6%	-19.0%	-9.5%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業はすべての指標で好転

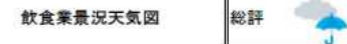
飲食業では、売上額DIが-35.3、採算DIが-41.2、資金繰りDIが-23.5となり、対前期比でそれぞれ29.4ポイント、29.4ポイント、23.6ポイント上昇し、すべての指標が大幅に改善した。

前期は、売上額DIが-64.7、採算DIが-70.6と全業種の中で最も指標が悪い状況にあった。当期は、すべての指標で20ポイント以上好転し、改善の傾向がみられる。年間を通じた趨勢で見ると、大底があったものの、景況感は概ね横ばいである。

次期は、引き続きすべての指標が好転する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

売上額DI	-35.3% (対前年比 29.4好転)	次期予想	-23.5% (対前年比 11.8好転)
採算DI	-41.2% (対前年比 29.4好転)	次期予想	-23.5% (対前年比 17.7好転)
資金繰りDI	-23.5% (対前年比 23.6好転)	次期予想	-11.8% (対前年比 11.7好転)



時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月~3月	-35.0%	-30.0%	-20.0%
29年4月~6月	-35.3%	-52.9%	-35.3%
29年7月~9月	-64.7%	-64.7%	-41.2%
29年10月~12月(前期)	-64.7%	-70.6%	-47.1%
30年1月~3月(今期)	-35.3%	-41.2%	-23.5%
30年4月~6月(見通し)	-23.5%	-23.5%	-11.8%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業はすべての指標が悪化

サービス業では、売上額DIが-8.7、採算DIが-8.7、資金繰りDIは0.0となり、対前期比でそれぞれ17.4ポイント、8.7ポイント、13.0ポイント減少し、すべての指標が悪化した。

前期は、売上額DI、資金繰りDIが好転していたが、当期は一転、悪化した。採算DIは、3期連続で悪化している。年間を通じた趨勢で見ると、景況感は概ね横ばいであるが、他業種と比較して指標は良い値を示している。

次期は、すべての指標がプラス値に好転する見通しであり、引き続き全業種の中でも、堅調さがうかがえる。

主要3DIの対前年同期比推移

売上額DI	-8.7% (対前年比 -17.4悪化)	次期予想	13.0% (対前年比 21.7好転)
採算DI	-8.7% (対前年比 -8.7悪化)	次期予想	4.3% (対前年比 13.0好転)
資金繰りDI	0.0% (対前年比 -13.0悪化)	次期予想	4.3% (対前年比 4.3好転)



時期	売上額DI	採算DI	資金繰りDI
29年1月~3月	-10.0%	-5.0%	-5.0%
29年4月~6月	-4.3%	13.0%	4.3%
29年7月~9月	4.3%	4.3%	8.7%
29年10月~12月(前期)	8.7%	0.0%	13.0%
30年1月~3月(今期)	-8.7%	-8.7%	0.0%
30年4月~6月(見通し)	13.0%	4.3%	4.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。